

取付説明書

ZETA フライトパーチRD

この度はZETA 商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品はロードレース用のクラッチレバー・レバーホルダーとして様々な特長をあわせ持つ機能的なレバー・パーチセットです。

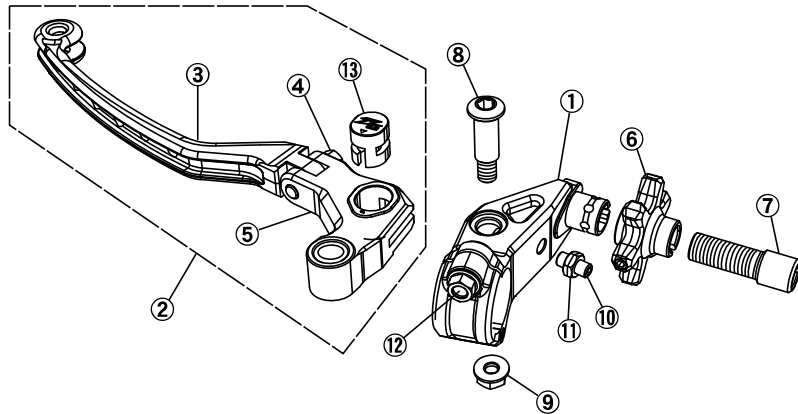
取り付けされる前に、必ず製品の状態をご確認いただき、下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1. 注意事項

- 既に車輛に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉し、使用できない場合があります。
- 製品に対し、加工、改造を行わないでください。
- 取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となる場合があります。

- 本製品はレース専用パーツです。一般公道での使用はできません。
- 特殊なセンサースイッチを使用している車両には対応しておりません。クルーズコントロール、複数のスイッチ、オンオフのタイミングがシビアな車両には使用できない場合があります。
- 定期的に可動部を洗浄し、各部のグリスアップを行ってください。

2. 各部の名称



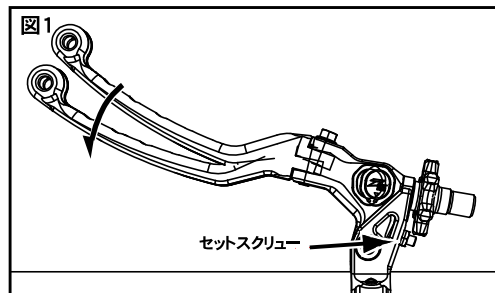
① パーチ本体ASSY.....	1個	⑧ チタンピボットピン.....	1個
② レバー本体ASSY.....	1個	⑨ M6アルミナット.....	1個
③ レバーアーム.....	1個	⑩ セットスクリュー.....	1個
④ M6チタンボルト.....	1個	⑪ M5ナット.....	1個
⑤ アダプター.....	1個	⑫ M6チタンボルト.....	1個
⑥ メインアジャスター.....	1個	⑬ レシオデバイス.....	1個
⑦ アジャストボルト.....	1個		

3. 各部の機能と構造の説明

●レバーアジャスター

ハンドルからレバーまでの距離を変えられます

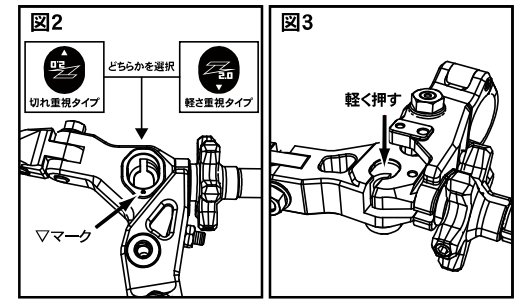
- セットスクリューの締め具合で無段階にレバーの位置を調整できます。
- ロックナットを緩めセットスクリューで位置を決めます。
- 取付の際はワイヤーの調整の前にレバーの位置を決めることをお勧めします。
- レバーを近づけ過ぎると、クラッチが切りきれない場合がありますので注意してください。



●レシオデバイス

レバー比を2段階に調節できます

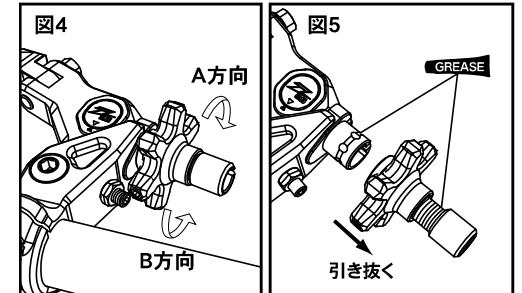
- レシオデバイス▽マークとレバー本体の▽マークが合う方向が軽さを重視したタイプ、逆の方向が切れを重視したタイプになります。(図2参照)
- レシオデバイスは裏から棒状の物で押すことで外せます。(図3参照)
- 取付の際はタイコ部分にグリスを塗布してください。



●クイックケーブルアジャスター

走行中でも素早く簡単に遊び調整できるパーツです

- メインアジャスターをA方向に回転すると遊びが少なく、B方向に回転すると遊びが多くなります。(図4参照)
ブランジャーにより一回転で6クリック、1クリックで約0.2mmの調整が可能です。
- 冷間時はなるべくB方向に寄せておき、クラッチに熱が入った際にA方向に微調整する使用方法を想定しております。
- メンテナンスの際メインアジャスターは図5の矢印の方向に引き抜くことができます。
組み付け時は、パーチ本体とアジャストボルトの割り方向を合わせて差し込みます。
図5に示す箇所グリスを塗布してください。



●可倒式レバー

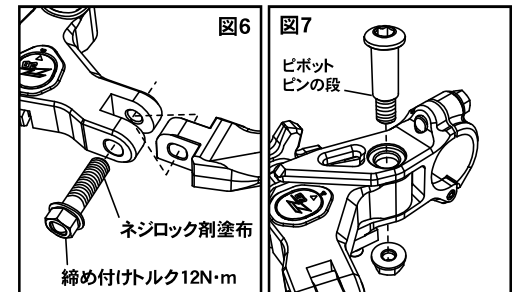
レバー破損によるリタイアのリスクを軽減します

- 工場出荷時には規定トルクで固定されていますが、定期的な確認をして下さい。ネジが掛かる部分にはネジロック剤を塗布し、確実な締め付けを行ってください。(図6参照)

●ベアリング内蔵ピボット軸

フリクションをできる限り抑えています

- レバーピボット部には上下にミニチュアベアリングを配置しております。
- パーチ本体とレバーの摺動面にグリスを塗布してください。
- ピボットピンを取付の際はベアリングにダメージを与えないように気をつけてください。ピボットピンの段がパーチ本体に着地した状態で、下側アルミナットを固定してください。(図7参照)
- ピボットピンのセンターの穴を活用しワイヤリングをする事もできます。



4. 取り付け時の注意

- 各ボルト、ナットに緩みがない事を点検しハンドルを左右にいっぱいまで動かし、十分にケーブルの遊びがあるか、カウル等の干渉は無いか確認してください。
- 安全な場所でエンジンを始動し、クラッチの切れ具合、すべり具合を点検してください。